

Dishes × Classic

器のお店を営む小笹さんに、クラシックを器で例えてもらいました。



ドビュッシー「月の光」は
大橋保隆さんの鍮起銅器

「鍮起銅器に光が当たって静かに輝く様子を想像します」
Claude Achille Demossy



メンデルスゾーン「春の歌」は
佐々木翔子さんのガラスの小皿

「弾んだ曲調と、佐々木さんの春らしく明るい色合いのガラスがよく似合います」



サティ「ジムノペディ」は
白石陽一さんの磁器のカップ

「静けさに満ちた、シンプルで削ぎ落とされた曲調が、白石さんの作品を連想させます」



器も、音楽も
美しいものはそばに
置きたくなります！



小笹さんの /
私の好きなりゅーとびあ
りゅーとびあの周辺や、建物の中を
散策するのも好きという小笹さん。
お気に入りのスポットをいくつか教
えてもらいました。

photo by 小笹教恵



▲ 水盤に浮かぶ舞台

「遊歩道は私のランニングコースです。天気の良い日には水面に建物が映し出されて美しいです。四季折々で木々の変化が楽しめるので、気持ちよくランニングできます」

▼ 能楽堂の枯山水

「エレベーターのドアが開くと目に飛び込んでくる枯山水。いつも癒されています」



▲ 屋上庭園

「新潟の景色も一望できますし、上から見た空中庭園の様子も面白いです」

チケット購入方法は3つ! どれも手続きカンタンです!

りゅーとびあオンライン・チケット
<https://www.ticket.ne.jp/ryutopiaticket/>
※事前の利用登録が必要です。

りゅーとびあ2F
インフォメーションカウンター

りゅーとびあチケット専用ダイヤル
025-224-5521
※11:00~19:00 / 休館日除く

ご来場
お待ちしております!!



断比類なき才能、
固たる意思、



第114回 | 新潟定期演奏会
東京交響楽団

2019年 7月14日(日) 5:00p.m.
りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館 コンサートホール

プログラム: ピアノ四重奏曲 第1番 ト短調 op.25 (シェーンベルクによる管弦楽版)
ドヴォルザーク: 交響曲 第7番 二短調 op.70

【チケット料金】S席7,500円 A席6,000円 B席4,500円 C席3,000円 D席2,000円
U25シート1,500円(税込) / 対象: 25歳以下(未就学児を除く)
※U25シートはコンサート当日空席がある場合に限り15:00よりインフォメーションで販売
※購入時に年齢のわかるものを提示 ※席種及び座席番号の指定不可

【チケット取扱い】りゅーとびあ(窓口・電話・オンライン)
りゅーとびあチケット専用ダイヤル: **025-224-5521** (11:00~19:00 / 休館日除く)
りゅーとびあオンライン・チケット: <http://www.ryutopia.or.jp/>
新潟伊勢丹 / セブンチケット: <http://7ticket.jp/>
※りゅーとびあ以外では取り扱いのない席種もございますので事前にご確認ください。

【主催】公益財団法人新潟市芸術文化振興財団
【お問い合わせ】りゅーとびあチケット専用ダイヤル: **025-224-5521** (11:00~19:00 / 休館日除く)

日々を愛する大人たち

RYUTOPIAN

クラシック音楽のコンサートや、劇場でのお芝居など、舞台芸術を自然体で楽しんでいる人々がいます。自由に、感じるままに。そこで得た感動を、明日への力に変えていく。そんな大人たちをご紹介します。

05

東京交響楽団
第114回
新潟定期演奏会

TOKYO
SYMPHONY
ORCHESTRA

今回のヒト 小笹 教恵さん

器のお店「ヒメズキ」を営む小笹さん。音楽やNoism®の公演で、りゅーとびあに足を運んでいます。※りゅーとびあ専属舞踏団

暮らしと、アートと、豊かさ

「音楽の楽しみ方は人それぞれ。私は本を読むときや、眠る前のひとときに、静かでゆったりとしたクラシックの曲を聴くのが好きです。仕事でも何でも夢中になる性格なので、一日のどこかで心を休める時間が必要なんです(笑)。先日パリを訪れたとき、人々が音楽を楽しむ姿を目の当たりにしました。オーケストラが教会で演奏していて、地域の人々がごく自然に聴きにきている。芸術が日常に根差している風景が、私にはとても美しく映ったんです。帰国後、そのヨーロッパの雰囲気、新潟もさほど遠くないと思うようになりました。街の中心に川が流れ、音楽や舞台芸術を楽しめる環境が身近にある。豊かなことだと改めて認識しました。上古町にある私のお店には、りゅーとびああの公演前後に立ち寄ってくださる方もいて、アートを楽しむ素敵な方ばかりと感じています。私も身構えずに、暮らしの中に取り入れていきたいですね」

指揮: ロレンツォ・ヴィオッティ
Conductor = Lorenzo Viotti

© Gulbenkian Música / Marcia Lessa

東京交響楽団 第114回

新潟定期演奏会

TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA

Jonathan Nott, Music Director

シューマンが、若き日のブラームスが世に出るのを助けたのは有名な話。そのブラームスもまた、ドヴォルザークが世に出るのを助けた。ドヴォルザークの類まれなるセンス、次々と湧き上がる旋律をブラームスは絶賛。二人の交流は終生続いたという。

「ドヴォルザーク家のゴミ箱を漁れば交響曲が一曲できる」



©Stephan Dolescha

名指揮者を父に持つが、親の威光が通用する音楽界ではない。23歳で数々のコンクールに優勝^{*}し、以来世界一級のオーケストラを指揮するなど自身の手で道を切り拓いてきた。

*カダケス国際指揮コンクール、ライプツィヒMDRコンクールで優勝

天才の呼び声高い29歳の俊英

ロレンツォ・ヴィオッティ (指揮)

父は50歳で急逝した名オペラ指揮者マルチェロ・ヴィオッティ。父を失った時ロレンツォは14歳だった。「そこで私の人生は一度終わり、そして始まった。父が亡くなったことで、自分の道を自分で選び、決断する自由を与えられた」。

極上の音楽、その秘密は特異なルーツにあり

イタリア人の父とフランス人の母を持ち、ウィーンで指揮を学んだロレンツォ。最高の血統と多様な文化を背景に持つ彼の演奏は、情熱と繊細さを兼ね備えた極上の響きと評される。

曲の中に織り込まれた起伏を、ある時は劇的に、ある時は丁寧に、説得力を持って描き出す。このような若き俊英による音楽を、新潟に居ながら聴く機会は今後も減多にない。

時を越えて繋がる父と子の絆

彼の音楽の中に父親への愛情と尊敬を感じます



マルチェロ・ヴィオッティ



father

son

2019年7月14日(日) 5:00 p.m. No.114 Sun. 14th July 2019.5:00 p.m.

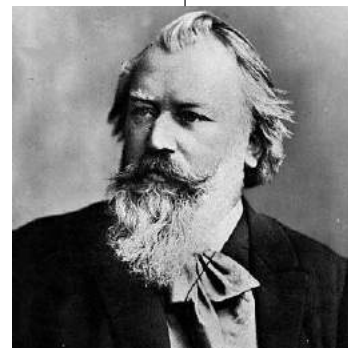
りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 コンサートホール

01 J.Brahms:Piano Quartet No.1 in G minor,op.25 (arrangement by A.Schönberg)

02 A.Dvořák:Symphony No.7 in D minor,op.70

01 ブラームス：ピアノ四重奏曲 第1番ト短調 op.25 (シェーンベルクによる管弦楽版)

ブラームスの3つのピアノ四重奏曲の中で、最も高い人気を誇る第1番を、シェーンベルクが敬意を込めてオーケストラ用に編曲。第3楽章に表れる行進曲調の大迫力、第4楽章のジプシー風ロンドなど聴きどころが盛りだくさん。



ヨハネス・ブラームス



ロベルト・シューマン

02 ドヴォルザーク：交響曲 第7番ニ短調 op.70

「新世界より」第8番に次いで人気のこの曲は、ドヴォルザークがブラームスの「第3番」を意識して作ったとのこと。第1楽章の堂々たる英雄的表現から、終始胸は高鳴り続ける。



アントニン・ドヴォルザーク



ドヴォルザークの豊かな旋律を継いだブラームスの名言です!

演奏会全体をひとつの相関図のように設計する。それが今回の新潟定期演奏会の味わい深いところだ。指揮者ロレンツォ・ヴィオッティと亡き父。そして、ブラームスとドヴォルザークの友情。そこには共通して「絆」や「心の繋がり」が見て取れる。人と人の温かい関係に思いを馳せながら、豊かな旋律に身を委ねてほしい。

Unparalleled talent Determined intention

人生がものづくりに影響するのは器も同じですね

